

# 月刊トマホーク通信

No. 28  
88. 2. 20  
定価 100円

〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマ喰虫社 ☎03(498)6095  
044(63)5101



核の海からいのちの海へ

2.28-5.31

## ■ピース・スピリット88を成功させよう

「軍隊」の正体をあらわにした自衛隊

大島 薫

韓国の新聞から

チーム・スピリットと反核運動

### トマホークの配備を許すな！全国運動

●維持会員（月間会費）

団体 1日 2000円  
個人 1日 1000円

●参加会員（月間会費）

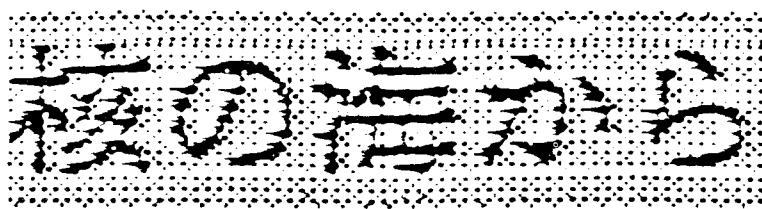
団体 1日 1000円  
個人 1日 500円

●通信会員

年間 2000円

会費はすべて本紙購読料を含みます

あなたも仲間に！



## ■ ピース・スピリット

うになりました。

あの頃に比べると、今はまさに国難の時代！

現に私達は、伊方原発の出力調整実験中止の署名を集め、明日十二日は、高松へ持つてゆくのですが、明日午前九時、実験を行うそう

その最たるものは、「原爆と戦争」と考えるよ

うなことを仕掛けることであり、それはまた、人間の意志で喰いとめることが出来る筈。

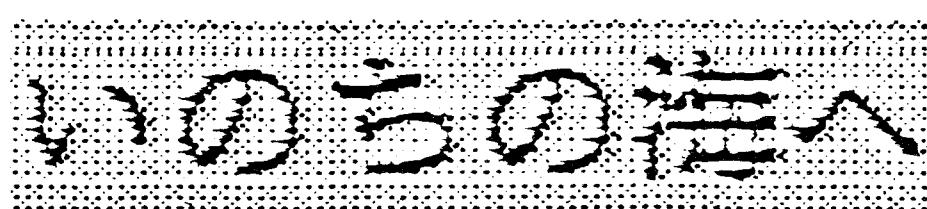
日本に現在、原発が三十五基稼働し、目下建設中が十六基とか。これは一触即発の大惨事になりかねない！ 恐ろしいことです。原発実験に目を向けている間にも、海のI.N.F.は、着々増強され、米韓合同軍事演習、トマホーク艦ファイフの横須賀母港化（核ト

トマホーク艦の日本母港化 ベラウ・  
フィリピン・韓国の激動 日本の軍拡…  
歯止めなく軍拡がすすむ北西太平洋  
をどうするか

● 1988.3.6 AM10:30~PM8:00  
● 原作・文原凶賀七八九二



111



## うやせた成功をめぐる

5年程前、下の子をおぶりながら「ウラン採掘反対、インディアンの人々の被爆を止めよ」という署名を近所をまわって集めたのが私にとっては始めての行動の一步だった。

核と戦争は人間の意志で  
くいとめることができる

私はこの事実に、どれほど大きく励まされたことだろう。たった一人は無力だと、あきらめてしまうことはできなかつたから。現在に至るまで、数限りない人たちとの出会いがあり、会うことができずとも確かにつながつた仲間がいる。私はそれらの人々とのつながりの中で学び続けている。共に学び気づき合つてゐる。

誰にでも平和のために何かできる。一人でも何か始めることはできる。三宅島で、白保

の前年、水俣の映画を見て、胎児性水俣病の子供たちの健気な姿に「二度とこのような事を起しては！」と、走り出したのでした。

あの頃は公害もまだいくらかのんびりしていました。大気、水中汚染、中性洗剤、食品添加物、農薬などに取組みながら、新しい住民組織には、先生もお手本もなく、とにかく、自分たちで考え、手探りで歩むしかなかったのですが、そのうち段々「公害とは、人間が自分たちの欲のために、他の生存を阻害する

マホーク一発で、広島型原爆十五発分の威力）、ファイフは、四十五発のトマホーク（I-N-F）を持つので、合計六七五発の様が横須賀に持ち込まれることも分かつて来ました。

既に、日本列島は、軍事基地となりはて、核兵器、原発、核廃棄物などで核まみれの現状です。

日本は言葉としては、よく民主主義を言う割に、自主の確立が出来ていないようで、よその国の従属国となり、日本の存在すら危うくなっている時、反公害団体自らが考えて「ピース・スピリット八八」に参加することが決まつたことは大きな感慨です。

で、逗子で、六ヶ所村で、生きることそのものが、平和のための運動となっているところ。たとえ、その場に自分はいなくとも、彼らの声が、いつでも聞こえるようにと思う。そして海を越えてペラウ、フィリピン、韓国、そしてインディアンと呼ばれる人々の声も。そのために自分に何ができるかと考え続けている。



## 【「核問題は心にずっと重くのしかかってくる最たるもの……】

1984年10月1日の神奈川新聞のインタビュー記事で、この街をおもてている核問題について、横山市長はこのように言いました。さらに、トマホーク艦の入港拒否を求める「草の根署名」に応じ、「5万余の市民の非核署名の意志を代表して、市長として最大限の努力をしていく」ということも。

## 【外務省へ】

以降、ヨコスカ市はトマホーク艦の優先拒否である、ロスアンゼルス級駆逐艦の入港のたびに外務省へ出向き、核搭載の有無をもう一度確認してほしいと問い合わせています。日本政府のいう「非核の説明」を信じられないからこそ、くりかえしなのでしょう。市民はそのように理解し、だからこそ期待もしています。

## 【「持ち込ませず」に至りますと、なかなかややこしい要素を持っております】

87年9月の定例議会での市長の答弁です。市長のいう「ややこしい要素」を市民のコトで言えれば「疑惑」、昔の方はさまでですが、核は持ち込まれないと断言できない、との結論は市長も市民も同じです。

## 【そしてついにトマホーク艦の「母港」発表!】

「ファイフ」「パンカーヒル」と、たてつづけにトマホーク艦の母港が発表されました。市長は「安保を肯定する立場から母港は拒否しない」と市議会で答弁しました。しかし核武装が明らかになれば入港には断固反対する、とも。アメリカが核の有無を明らかにしない政策をとっている今、核武装が明らかになると、とはどんなときなのでしょうか。核小故?それとも核爆発? でも、そのときはおそがるとは思いませんか。

## 【データはそろっている】

「ファイフ」「パンカーヒル」が核トマホークを搭載してヨコスカにやってくることは、米議会証言によって明らかになっています。これまでの核とは比較にならないほど、配備状況が「公開」されているのが、トマホークという核兵器の特徴なのです。

## 【それでも日本政府は、しらを切りつづけるでしょう】

だからこそ「疑惑」というものが生まれ、私たちはそのくらみの中でもがき続いているのです。シラを切りつづける日本政府にケタをあげたまでは、〈疑惑〉はいつまでたってもはれることはないでしょう。

## 【母港そのものの拒否を!】

くりかえします。「ファイフ」「パンカーヒル」はトマホークをつんで私たちの街を母港にしようとしています。そのトマホークは明らかに核弾頭です。そうではない、という資料は見つかりません。市民の「非核」の願いを代表する市長の「勇気」を、この街のすべての人があがめています。一刻も早く、トマホーク艦の母港を拒否して下さい。

## 反トマホーク草の根署名運動

横須賀市大瀬町1-25 大森法律事務所 TEL (22) 0287

このチラシについてのご意見をお寄せ下さい。また著作・配布に多くの費用がかかりました。カンパをお寄せいただければ幸いです。



横須賀市民の一人として 本村武志  
横須賀市大瀬町に反対する決議  
このチラシについてのご意見をお寄せ下さい。また著作・配布に多くの費用がかかりました。カンパをお寄せいただければ幸いです。

ヨコスカ…  
月日、日の朝、5万枚の新聞  
ありこみチラシが配られた。

## 市長への手紙

一月一日、新年早々の朝日新聞に小さな記事がまぎれこんでいた。

日米の安全保障問題専門家の研究グループである「アジア・太平洋安全保障会議」と、

防衛庁の外郭団体の「平和・安全保障研究所」が、共同で「一九九〇年代の西太平洋における日米安全保障政策に関する提言」をとりまとめた、というのだ。

そこでは、アメリカにとっての西太平洋地域の重要性を指摘し、アメリカが「経済上の困難から戦略及び政策の変更を行うことは避けなくてはならない」とまず訴えるとともに、日本に対しては①日米地位協定改定による在日米軍経費負担の増加②紛争地域への援助も

## 「西太平洋軍拡」のすすめ

### 日米「有識者」の 安保共同提言

含めた経済協力の拡大③国際的警察機能への参加(自衛隊海外派遣)④通常兵器防衛構想(CD-I)での日米開発協力⑤有事態勢を整えるための予備自衛官制度の大拡大などが強調されている。

提言のメンバーは日本から高坂正泰、京大教授、神谷不二慶、大慶大教授、佐伯喜一郎、野村総研相談役、米側からはローレン・スタンフォード大教授、ローチ・ノースロップ社副社長ら。いずれも日米両政府の政策決定にかなりの度

合いで影響を持っている「有識者」たちだ。この「提言」は米軍駐留費の日本による肩代わりなど、すでに実行に移されているものもある。

西太平洋における「日米共同」の役割の強調は、日本も含めたアジア・太平洋の人々の願いに正面から立ちはだかるものだ。ピース・スピリットは、西太平洋の地から日米政府のこうした思惑にクサビを打ち込む国際的な行動である。

## 私はファイフを見ました

## ポート・ウォッチ情報

「反トマ通信」第二十六号でお知らせしたところ、「海の軍備撤廃を! 太平洋運動」の研究者ネット・ワークは各地の研究者や運動グループにファイフの動向を監視するよう呼びかけている。これにこたえて、ファイフとバンカーヒルの現在の母港であるサンディエゴとハワイから一艦の最新の情報が届いた。

○「今日(二月九日)ファイフがサンディエゴを出港しました。行先はわかりません。海軍は『近海を航海するだけ』と説明しています。たぶんそれは嘘ではないでしょう」(同じく平和情報センターから)

## バンカーヒル

○「一月十日、バンカーヒルが戦艦ミズーリに伴つてパールハーバーに入港した。オマハ海峡における船団護衛任務からの帰途である」(一月十一日付け『ホノルル・スター・ブレティン』)

スピリットは、今年で十三回目。初めはカーター政権の「在韓米軍撤退構想」のもので、米本部や太平洋軍司令部翼下の部隊の緊急展開態勢をチェックすること、これが主な目的とされた。レーガン政権になつて朝鮮半島が東アジアにおける東西対決の最

六  
(清田台史記者)

# 緊張高める事重韓米の習演

五輪との終りで、向を表明した。  
ある。北朝鮮の「つまり、南北の直接会談とい  
金日成主席は、う一つの主張で、大規模演習の  
「新年の辞」中止による緊張緩和と五輪参加  
で、韓国当局者を一括りで解決しよう、と呼び  
も含めた「北韓」かけてきた。

年、往來を來の最終回答を留保、  
「連席會議

五輪参加からめ北朝鮮反発  
結果は最大規模の実施計画

み、中止が頻々続々かの  
鶴鶴も出でいた来韓演習「子一  
國の合同軍事演習「子一  
ムスピリット」が月下  
何か、韓國全土で大規  
模に繰り広げられる。  
「假想敵」とされる朝鮮  
民主主義人民共和国（北  
朝鮮）は平壤、非集会場  
を頻々（な）、反発を表す

習の規模は年々、拡大し、ここ数年は米韓合戦で約十万人の兵士を動員、資金は年半ば、国際オリンピック委員会(IOC)に「現状一括資金機」としての五輪未参加」を通告したといわれるE.T.B.も投入された。この競技が今IOCの分散開催提案に対する南北共催問題などをあげた。

与えていた』(外交評論館『ラ  
オーリン・アフエアーズ』八七  
年夏季号) 七、演習の期間、規  
模の縮小を提言。暮れから今年  
初めにかけてラウルやワシント  
ン、東京の外交、軍事筋の間  
で、米韓両国ともその中止、少  
なくとも実施規模の半減を検討  
中との観測が盛んに流れた。例  
新聞』も「いつ戦争の火種が爆  
発するか、だれ  
上陸演習と、休戦ライツ沿いの  
中部前線で、陸空軍戦力が一体  
した。した  
となつた「反撃総攻撃」作戦が  
その中心となる模様だ。  
北朝鮮側は演習計画発表の翌  
日、平壤で前例のない「万人規  
模の『米韓糾弾市民集会』を開  
いた。朝鮮労働党機関紙『労働  
南北

五年秋以来、IOCが仲介  
四回の南北会談を通じて  
鮮側は平壤での開催競技數  
を最初の南北人日比に上  
つから六つへと落とし、IO  
五競技案に近づいている。  
て協議が成ったとしても  
が統一チームで大会に臨  
べどうか。

か。難問は、なむ多く。

実行委員会は、三多摩の労働組合・市民団体を中心として構成され、今年で四年目を迎えます。

一九七六年以降行われている西側最大規模の米・韓合同軍事演習「チームスピリット」において日本にある米軍基地の果たす役割はきわめて大きなものがあり、日本は後方支援基地というより、直接の出撃基地となつておられます。

今期は、米軍の闇ハを密接つながり、具体

三多齋

横田から  
アジア民衆との  
連帯求めて

田嶋 勉

### (チーム・スピリット88反対闘争)

三多摩実行委員会)

抗議闘争②基地監視行動③闇いの交流④統一情宣と山場における抗議集会・デモ⑤首都基地シーアー⑥反戦フエスティバルの企画⑦六月反安保闘争での全国の仲間との交流⑧十月横田基地包囲に向けた闘い、等を展開していくことが確認されました。

反戦・反基地・反安保・アジア民衆との連帯の闘いが、とりわけ労働運動のなかから導かれてようとする今日的状況を少しでも打ち破るべく、全国の反基地闘争を闇う仲間と連帯し米軍横田基地撤去、米・韓・日一体となつたチームスピリット反対に向けて、実行委員会はねばり強く闇いぬく決意です。



中国を訪問して

「ゆたかさと平和」

吉田満智子  
(トマホーク阻止京都連絡会)

人民がもとめる

暮れもおしまつた十二月二十二日から三十日にかけて十三回党大会直後の中華人民共和国を訪ねることができた。中国人民争取和平與裁軍協会の招請による反戦平和交流団の一員に加えていただけたことを感謝する。

協会は、医師、作家、弁護士、宗教家、青年など二十四グループ加盟の全国組織である。会長、周培源氏、副会長、趙輝初氏、柴沢民氏、他十四人。事務局二十人が、調査研究、組織などの日常業務にあたっており、会員五億人とか。「核戦争反対・軍縮と世界平和」を唱え、国内的活動としては、一万人集会、上映会、音楽会、座談会、展示会などの平和教育を行っている。国際的には、自主独立の立場で、ヨーロッパ、アメリカ、日本、オーストラリア、東ヨーロッパ、ボーランド、

ニュージーランド、そして第三世界各国など四十カ国、グループと友好関係を結び、日本の原水禁、原水禁、平和委員会(創価学会)、地婦連などの交流は古い歴史を持っている。

今回の私たち、草の根平和運動との交流は初めてとあって大きな関心をもって迎えられた。二十三、二十四の両日、北京で交流をもち、中日両国の報告がされた。二十四日の、副会

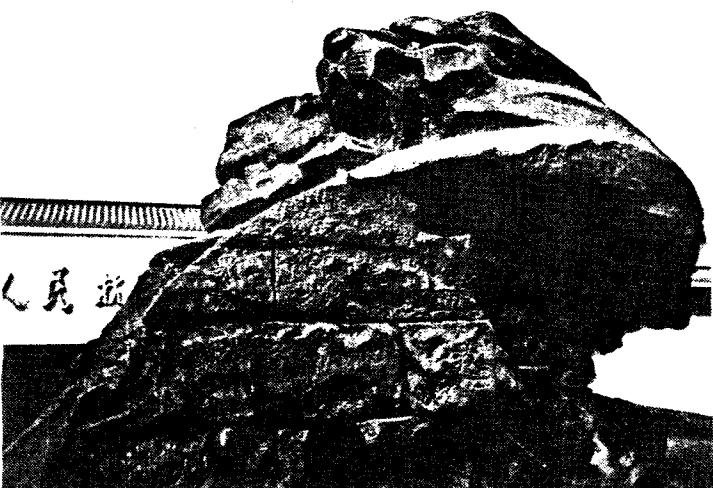
長の一人である柴沢民氏(元駐米大使)による第十三回党大会についての報告を紙面の都合上、ごく簡単にお知らせすることにします。

「経済的発展が第一義であるが、平和な国際環境の中で初めて可能なことである。平和のための努力として百万の軍隊と軍事費の削減、核兵器は核脅威を防止するためには持つてても、国連総会の中で全世界の人々と核兵器反対のための提起をしてきた。国際的平和活動を積極的に支援する目標をもつていても、軍拡反対、核兵器廃絶が最大の目的である」。

「発展途上国の中でも遅れた貧しい中国――社会主義の初期段階の処置をしなければならない。そのため、外国の資本、技術を積極的に受け入れる。共産党一党を堅持しながら、解放中国の活性化のために外国の実状、西欧の思想からも学ばなければならない」と話される。

「特色ある中国の社会主義を建設する」という第十三回党大会の方針のもとに、人民のゆたかさと平和をもとめて動きだした解放中国。

四十年間、私たち日本人が追い求めてきた、「ゆたかさ」と「平和」である。



## 北海道から 「軍隊」の「正体」をあらわにした自衛隊 八七年秋の「異常事態」

大島 薫

(トマホークの配備を許すな!  
反核北海道行動)



「砲弾、演習場外でさく烈(上富良野)」  
(五月十九日付「北海道新聞」)、「本道有

事に五千人。最大規模、今日特別演習」矢白別」(七月二十二日付「北海道新聞」)、「自衛隊、公園でゲリラ戦(八雲)」(九月二十九日付「北海道新聞」)。そして「戦車三十両国道を走る(釧路町)」(十一月六日付「朝日新聞」)、「今度は自走砲走る」名寄」(十一月九日付「朝日新聞」)。

この「長距離軌道訓練」と称する戦車の国道走行に関して、北部方面総監副司令が北海道新聞のインタビューに「市民からの抗議や苦情は全くない」と答えたことに、抗議を申し

入れたその日に「公園でスキー訓練(旭川)」(十一月十三日付「北海道新聞」)が発覚。さらに「超低空、今度は米軍機。日高沖から函館上空、爆音に苦情相次ぐ」(十一月十七日「北海道新聞」)、「超低空飛行は米軍大演习、有事想定訓練」(十一月十八日付「北海道新聞」と一面トップ記事が続く。

韓国に民主化へに動き、米ソ中距離核軍縮交渉と連なると思われるこれらの動きをしつかりと見極め、「核と軍事基地」の島への動きを絶対に許さない、民衆連帯を創りあげていきたい。(八七年十一月中旬記)

この記事は昨年十一月下旬に執筆、送稿していたましたが、スタッフの手違いで掲載が大幅に遅れてしましました。筆者の大島さんは大変申し訳ないことをしてしまいました。紙面を借りておわびいたします。(編集部)

例年通り、最大規模…

# チーム・スピリット 今年も

「一時は中止決定」は作り事

今年も米韓合同軍事演習「チームスピリット」が行われる。期間は二月下旬から五月初めまで。例年に比べ、期間が少しおそくれこんでいるが、昨年なみの最大規模である。ところで、この発表と前後して次のような情報が報道された。

「韓米両国は昨年末①九月のソウル五輪を控えた朝鮮半島の緊張緩和ムード作り②米政府の軍事費削減方針——などの理由から「チーム・スピリット八八」を中止する方針をいつたん決定した」（一月十九日『日経』）。しかし「大韓航空機事件が、朝鮮民主主義人民共和国の犯行であることが明確になつたとの判断に基づいて」（同）「中止」方針を撤回、一転「実施」に踏み切つた、というものである。

国近海での展開③八八および八九チームスピリット強化など、八六年アジア競技大会の時よりさらに強度の対応措置を講ずることで合意した」（五月六日『東亜日報』傍線筆者）。この会議から「六・二九民主化措置」を挟んで四ヶ月後の九月十二日には、リチャード・アーミティジ米国防次官補が「オリンピック期間中、空母機動部隊を派遣する」と言明している。（資料I）

二月十七日、韓国民主回復統一促進国民会議（韓民統）、在日韓国青年同盟、在日韓国学生同盟の三団体代表は駐日米国大使館に「チームスピリット」中止を求める申し入れを行つた。この時同大使館の安全保障担当官は「中止する」という話は聞いたことがない」と答えている。これも「中止決定」が国際世論向けの「幻の決定」であったことの証である。

最後に昨年八月にソウルで行われた女性たちの反核行動を報じる「東亜日報」の記事を紹介しよう。依然として「核問題」がタブーとされる社会の中で現在の核状況について公然と政府に問い合わせた勇気ある行動である。

（日韓連帯神奈川民衆会議  
翻訳 秋田郷）

## 資料 I 『ソウル・オリンピック期間中 米空母戦闘団配備用意』

「ソウル UPI・連合」米国はテロリストや北韓（ママ）からの攻撃からソウルオリニックを防衛するために、韓国へ軍艦と戦闘機を配備する用意があるとリチャード・アーミティジ米国防次官補が十二日述べた。

アーミティジ次官補は、ソウル・オリンピックが妨害されないように保護するにはどんな種類の保安措置が必要であるかを決定するため、韓国軍部関係者らとの協議を継続中であると語った。

彼は鄭 滔（チヨン・ホヨン）国防長官との会談を終えた後、特に八八年九月十七日から十月一日まで挙行されるソウル・オリンピックの「安全を保障するための情報活動と米

しかし、これは「緊張緩和」に真向から逆らう自らの行為を一方的に朝鮮民主主義人民共和国側に責任転嫁するための巧妙なトレリックと言わざるを得ない。事実、この一年間米韓両政府間の一連のやりとりからわかるのは「演習実施」こそが「既定方針」であったことである。

（『東亜日報』八七年九月十四日）

国財産の実質的移動」に言及した。

また米国がソウル・オリンピック保護に必要な米軍がソウル・オリンピック保護に必要な戦闘機を備えたと「この地域に戦闘機を備えた空母機動部隊を移動配備させる」とができると述べ、このために米国は主要軍事公約を行な用意があると強調しつつ、「我々は喜んで兵力配置に関する軍事調整を行う」と語った。五日間の訪問のため韓国を訪れた理由の一つとしてアーミティジ次官補は、ペルシャ湾における米軍事防衛公約が韓国に対する米国の防衛に影響を及ぼすものではないことを韓国軍事関係者らに確信させることにあると明らかにした。

（『東亜日報』八七年九月十五日）

昨年五月五日、ワシントンで第十九回「米韓軍事委員会」が開催された。この席上では「八八オリンピックを前後した北韓（ママ）の対南挑発に備え、米国側の早期警戒体制強化計画を今年九月までに樹立、来年一月から実施することを合意した」。さらに両国は

## 資料 II 韓国教会女性連合会「平和のマダン」開催 『核の脅威乗り越え平和築こう』

韓国教会女性連合会「平和のマダン」開催  
—原爆被害後遺症生々しく告発 韓半島の核の実態公開質疑も—

韓国教会女性連合会が主催する第五回平和

のマダンが、広島への原爆投下の日である六

月から九日まで韓国教会百周年記念館一階小

講堂で開かれている。原爆投下記録映画とス

ライド上映、被爆二世たちが作つたマダン劇、

平和問題の公聴会等で構成されるこの平和の

マダンは戦争と核の危険を追い払い、平和を

築こうという平和運動の一環。

記録映画「予言」は広島と長崎の原爆投下

を、当時米軍当局が撮影したフィルム。韓国

で初めて公開されるこの映画は原子爆弾が起

こす火の爆風、わずか一発で十四万（広島）

と四万名（長崎）の死傷者を出した原爆の殺

傷力を生々しく見せてくれる。

また、教会女性連合会は「現在韓国半島は核が配備され核戦争の危険が常に存在して

いるにもかかわらず、国民にはその実状が隠

されている」と前置きして、今回の平和のマ

ダン開催に際し政府に向け「韓半島に核は必

要か」△核は誰の決定により使用されるのか

△核戦争の可能性はどの程度なのか

△核戦争が起こった際の国民の安全に対する計画はどのようなものか、を問う公開質問状を送った。

（『東亜日報』八七年八月七日）

原爆の後遺症で口蓋に孔のあいた子供を産んだある被爆者の家庭の不幸を被爆二世たちが直接芝居に仕立てて見せてくれた。現在、韓国国内には、日本に徴用や徴兵で連行され原爆にあつた直接負傷者とその後遺症を患う一・二世が二万名余りに達するものと推定

# 核も原発もいらない “反核独立太平洋の日” 2.28(日) 東京集会

午後1:00～4:30 入場料1,800円(中学生1,000円)  
千駄ヶ谷区民会館 2Fホール (座席券1,500円)



世界の核被害者

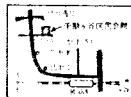
豊崎博光

海のINF

核と太平洋を語る

高木仁三郎

フーミンズ



●呼びかけ・日本カトリック正義と平和依頼会 (03)45711  
ブルトウム研究会 (03)219177  
トマホークの配備を許すな! 県都運動 (03)36095  
反核パシフィックセンター東京 (03)31668

●連絡先・反核パシフィックセンター東京 〒113 東京都文京区向丘16-3-7 自主講座内  
☎ 03(015)1648(午後3時～8時)

月刊反トマホーク通信 No. 28

\*発行 トマホークの配備を許すな全国運動  
〒115-0 東京都渋谷区渋谷二丁目一九バル  
青山五〇一 トマ喰い虫社  
603 (498) 6095  
044 (63) 5101  
\*定価 100円 (通信会員年間2100円)

\*編集 反トマホーク通信編集委員会

## 会計報告

(88.1.17～2.14)

### [収入]

○前月からの繰り越し △453,296

経常繰越 △27,296

借入金繰越△426,000

○会費収入 37,000

　　維持団体 4,000

　　維持個人 7,000

　　参加団体 12,000

　　参加個人 2,000

　　通信会費 12,000

○カンパ 43,000

○在庫売上 7,000

○反核ホットライン 12,580

(会費、パンフ等売上)

△353,716

### [支出]

●家賃 40,000

●電話代 6,780

●郵送費 53,640

●文具代 910

●印刷費 1,900

●雑費 3,990

●反核ホットライン経費 5,960

●手数料(郵便振替) 960

●その他(第三種郵便認可申請料)

50,000

●次月への繰越 △517,856

経常繰越 △91,856

借入金繰越 △426,000

△353,716

■訂正

前回の会計報告で、「支出」の項

の次月への繰越金額がまちがっていました。今号の「収入」の項の前月から繰越金額が正しい数字です。

■お願い

財政状況が非常にピンチです。是非とも未納会費を早急におくつてくれ下さい。あわせてカンパへのご協力をよろしくお願いいたします。

事務局一同、ピース・スピリットの成功とファイフ、バンカー・ヒル母港化阻止のため頑張ります。

財政が  
ひき迫っています

会費納入と  
カバンを!